

音楽科学習指導案

広島市立〇〇小学校
教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成23年11月〇日 (〇)

2 学 年 6学年〇組

3 題 材 日本の音楽を味わおう

4 題材の目標

- 楽曲を聴いて感じとったことを〔共通事項〕を手掛かりとして整理し、旋律の特徴や箏や尺八の演奏のよさを理解することができる。

5 教 材

「春の海」 (宮城道雄 作曲)

6 題材について

- 本題材は、新学習指導要領の2内容B鑑賞(1)アイウ、及び〔共通事項〕(1)アに関する学習内容を中心に設定した。

「春の海」は瀬戸内海を旅したときに目の見えない宮城道雄が感じ取った海辺の印象が描かれた曲である。尺八と箏が対話をするように響き合い、絡み合うところで、それぞれの楽器の音色や日本的な音楽の美しさを味わうことができる。また、A-B-Aという三部形式が緩・急・緩となっており、曲想の変化によって瀬戸内海の様々な情景を想像することができる。

宮城道雄は邦楽に西洋音楽の手法を取り入れた新しい作品作りを試みた作曲家である。「春の海」のバイオリンと箏の二重奏が海外に紹介されたことが世界的に知られるきっかけとなった。ピアノとフルート、ハープとバイオリン、箏と篠笛など様々な組み合わせの作品があり、それらの演奏を聴くことによってそれぞれの楽器の良さを味わったり、また異なった様子の海を思い浮かべたりすることができる。

- 本学級の児童は、6年生になって「ハンガリー舞曲第5番」を鑑賞する際に、聴き方には「気付いたこと」と「感じとったこと・想像したこと」があることを学習し、音楽を形づくっている要素について意識がもてるようになってきた。さらに「交響曲第5番運命」では、3人の指揮者の演奏を聴き比べ、自分の好きな演奏を「どこが好きか、なぜ好きか」という視点で発表した。また、「シェエラザード」では物語と音楽(主題)とのかかわり合いから、主題を聴いてシャリアール王やシェエラザードの人となりや想像するという活動をした。その際、旋律と音楽を特徴付けている要素について注目させ意見交換をした。また、学級担任との連携のもと、「グループで話し合う」「自分の考えを板書する」といった日頃の教室での学習活動を、音楽の学習でも取り入れた。

これらの学習活動を通して、自分の考えを深めることができる児童も少しずつ見られるようになってきた。

- 指導に当たって、まず実際に尺八と箏に触れることによってその音色や奏法に興味をもたせ、学習に主体的に取り組むきっかけとしたい。

「春の海」を聴く活動では、音楽を聴いて気付いたことを発表させる。子どもたちが発表した内容を、音楽の要素ごとに整理する。そしてそれらを手掛かりに瀬戸内海の情景を想像しながら聴き、互いの感じたことや想像したことを交流し共有する活動を設定する。そこでは、友だちの感じ方を認め、自分の感じ方を広げたり深めたりすることにつながるように言葉かけをしていきたい。最後に「春の海」の紹介文を書き、学習のまとめとする。

また、他の楽器の組み合わせによる「春の海」を聴くことを通して、日本の音楽や多様な楽器のよさを味わったり、鑑賞する楽しみを広げたりすることにつなげたい。

7 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や 表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	日本の伝統的な音楽や和楽器に興味・関心をもち、聴いたり表現したりする学習に、主体的に取り組もうとしている。	日本の旋律の特徴や歌詞の情景を感じとり、それらを生かした表現の仕方について自分なりの思いや意図をもっている。	日本の旋律の特徴や歌詞の情景を生かした歌い方で表現している。	日本の楽器の音色や奏法の特徴を感じ取り、そのよさや面白さを味わって聴いている。
具体の 評価 規準	① 旋律の動きや歌い方に関心をもち、表現する学習に主体的に取り組もうとしている。 ② 箏や尺八の音色や奏法に興味をもち、聴く学習に主体的に取り組もうとしている。	① 旋律の動きや歌詞の情景を生かした表現となるよう、どのように演奏するかについて自分の考えや願いをもっている。	① 旋律の特徴や歌詞の情景を生かした声の出し方、歌い方で歌ったり、演奏したりしている。	① 楽曲の特徴や、箏や尺八の音色や奏法の特徴を感じ取り、そのよさを味わって聴いている。 ② 聴き取った要素を手掛かりに、情景を想像しながら聴いている。

8 指導計画・評価計画（全7時間）

	ねらい	教材	時	学習活動（○） 学習内容（・）	評価規準・方法
第一 次	日本の旋律の特徴を生かし、歌詞の表す情景を思い浮かべながら表現する。	越天楽今様	第1時	○ 「越天楽今様」を知る。 ・ 旋律の特徴を感じて、歌ったりリコーダーの演奏をしたりする。	【アー①】 活動の観察
			第2時	○ 「越天楽今様」の表現を工夫する。 ・ 声の出し方、リコーダーの音の出し方、強弱、速度などに気を付けて工夫する。	【イー①】 【ウー①】 活動の観察
第二 次	楽曲を聴いて感じ取ったことを〔共通事項〕を手掛かりとして整理し、旋律の特徴や箏や尺八の演奏のよさを理解する。	春の海	第3時	○ 曲全体を味わって聴く。 ・ 曲の構成（A－B－A）に気付く。 ○ 宮城道雄について知る。 ・ 生涯、作品などを知る	【エー①】 活動の観察 ワークシート
			第4時	○ 尺八・箏について知り、演奏に挑戦する。 ・ 楽器のしくみや成り立ち、音色や奏法について知る。	【アー②】 活動の観察
			第5時	○ 楽曲を形づくっている要素に注意して聴く。 ・ 音色、旋律、速度、強弱、問いと答えなどに気付く。	【エー①】 活動の観察 ワークシート 発言

	春の海	第6時(本時)	○ 情景を思い浮かべながら聴き、紹介文を書く。 ・ 楽曲の特徴(要素)を根拠に(手掛かりに)瀬戸内海の情景を想像する。	【エー②】 活動の観察 ワークシート 発言
		第7時	○ 違う楽器の組み合わせによる「春の海」を聴く。 ・ 音楽を聴く楽しみを広げる。	【エー①】 活動の観察 ワークシート

9 本時の目標

- ・ 音楽を形づくっている要素を手掛かりに、瀬戸内海の情景を想像しながら「春の海」を聴き、紹介文を書く。
- ・ 友だちの意見を参考にしながら、自分の感じ方を深めていく。

10 本時の展開

学習活動	教師の働きかけ(指示・説明・発問) 予想される児童の姿(・)	教師の支援(○) 個への支援(※)	評価(☆) (評価方法)
1 前時の学習を想起する。	質 「春の海」はどのような形で作られていましたか？ ・ A-B-Aの形です。 質 それぞれの部分の特徴はどんなことでしたか？ ・ ゆったり-速く-ゆったり	○ 前時にまとめたものを掲示し、それぞれの部分の特徴付ける要素について確認する。	
2 学習課題を知る。	瀬戸内海のどのような情景が表現されているかを想像しながら「春の海」を聴き、紹介文を書こう。		
3 「春の海」を聴いて瀬戸内海の情景を想像する。	指 「春の海」を聴いて感じたり思い浮かべたりした様子を、ワークシートに書きましょう。 ・ 中のところで 速度 が速くなったので、海の波が激しくなったように感じた。	○ 想像の手助けになるよう瀬戸内海の写真を用意する。 ○ 前時で押さえた要素について着目させながら聴かせる。	☆ 聴き取った要素を手掛かりに、海の情景を想像しながら聴いている。 【エー②】 活動の観察 ワークシートの記述
4 グループで交流し、全体で話し合う。	指 グループで自分の感じたことを語り合いましょう。 指 前に出て自分の感じたことを黒板に書きましょう。発表しましょう。 どの要素と係わっているか考えながら発表を聞きましょう。 ・ 箏と尺八が 交互に出てくる ところで、波が揺れたり船が揺れたりするように感じた。 ・ 最後に だんだん弱くゆっくり になっていくところで、船が港に帰り着いた様子を思い浮かべた。	○ 友だちの感じ方を尊重するよう言葉をかけ、意見を言しやすい雰囲気を作る。 ○ 要素と結び付けて発表しやすいよう、話型を示す。 ○ 全体で話し合いながら、どの要素が根拠になっているか確認しながら整理する。 ※ ワークシートにうまく書けていない児童には、友だちの意見をヒントに思いついたことがあれば書いてよい	☆ 要素を手掛かりに、海の情景を想像豊かに聴いている。 【エー②】 活動の観察 ワークシートの記述 発言の内容

5 学習のまとめをする。	指 指	黒板の意見も参考にしながら、「春の海」の紹介文を書きましょう。 書いた紹介文を読みましょう。	ことをアドバイスする。 ※ 板書を手掛かりにするよう助言する。 ○ 児童が思い浮かべた様々な情景を全体で共有するよう言葉かけをする。	【エ - ②】 活動の観察 ワークシートの記述 発言の内容
--------------	------------	---	--	--

1 1 本時の評価規準

学習活動における具体的評価規準	【エ - ②】 聴き取った要素を手掛かりに、情景を想像しながら聴いている。
具体的な評価の方法	活動の観察，ワークシートの記述や発言の内容 (要素と関連付けて情景を述べているか)
Aと判断する場合の例	〈Aと判断するキーワード〉 ◇ 要素と情景に関する具体的な記述や発言 Aの対象となるのは、楽曲に注意深く耳を傾け、要素と係わらせながら想像豊かに聴いている児童である。発言やワークシートの内容から判断するが、用語の使い方は拙くても自分の考えを具体的に表している児童を対象としたい。
Cと判断する児童への働きかけ	想像豊かに聴いていても要素と係わらせて表現できなかつたり、要素は聴き取れても情景と結び付けて表現できなかつたりする児童がいると考える。教師が話型を示したり、友だちの発言を参考にしたりして、自分の考えをまとめる手助けとなるようにしたい。

1 2 板書計画

板書 1

めあて 瀬戸内海のどのような情景が表現されているかを想像しながら「春の海」を聴き、紹介文を書こう。

キーワード

音色 速度 強弱 問いと答え

写真

写真

写真

写真

板書 2

はじめ	中	おわり

※児童が持つワークシートは板書 2 と同じ形の予定